

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
生理機能検査学Ⅳ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	野邊 八重子 ※
授 業 概 要					
政令で定める生体機能情報を収集するための理論と手技、そして結果の解析と評価をできるようにする。生体機能検査を円滑に実施するため患者接遇の知識を修得する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・検査目的の対象となる臓器の構造と機能を説明できる。 ・測定目的、原理、操作方法、アーチファクトを説明できる。 ・測定波形の判読法を学び臨床的意義を説明できる。 ・測定機器の原理、構造を理解できる。 ・検体の取り扱いの注意を理解できる。 					
実務経験のある教員					
野邊 八重子：病院での臨床経験を踏まえ、脳波検査、睡眠呼吸検査、動脈血ガス分析を概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	脳波Ⅰ：神経系検査の基礎				野邊 八重子 ※
2	脳波Ⅱ：電極配置部位と脳波導出法				
3	脳波Ⅲ：脳波計の構造と取り扱い、アーチファクト				
4	脳波Ⅳ：正常脳波の変動因子				
5	脳波Ⅴ：睡眠脳波				
6	脳波Ⅵ：異常脳波				
7	脳波Ⅶ：生理的变化と賦活法 脳死判定				
8	脳波Ⅷ：体性感覚誘発電位				
9	血液ガスⅠ：A-aDO ₂				
10	血液ガスⅡ：血液ガス測定機器の構造と取り扱い、酸素解離曲線				
11	酸塩基平衡、経皮的血液ガス測定				
12	睡眠時無呼吸症候群検査				
13	安全対策・感染対策・患者急変時の対応				
14	検査の注意事項				
15	生理機能検査総合演習				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書及び配付資料を用いた授業を行う。 ・事前に関連部分の教科書を読んで予習しておくことが望ましい。 ・講義後に配付資料と教科書の関連部分を読んで復習すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・月曜試験を実施する。 ・遅刻や欠席等で月曜試験を受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は教育上不利益にならないよう考慮する。 ・定期試験（70%）及び月曜試験（30%）により評価する。 ・再試験は月曜試験の内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 最新臨床検査学講座 生理機能検査学 東條尚子 他 医歯薬出版 [資料] 配付資料					